

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2023年7月16日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖 歌 617 「慕 い ま つ る 主 の 」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖 歌 489 「人 生 の 海 の 嵐 に 」	一 同
教会学校	紙 芝 居 「 最 初 の 罪 」	牧 師
讃 美	聖 歌 548 「罪 に 沈 む な が 友 に 」	一 同
聖書朗読	ホセア4:1-3	
奨 励	ホセア書の福音(第3回)	牧 師
主 題	「神が裁く目的」	
讃 美	聖歌420「あなたの持てる悩みは」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖 歌 378 「さ か え あ れ や 」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	ホセア書第7章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



【今週の歩み】

7/16(日)聖日礼拝
/17(月)海の日
/18(火)
/19(水)13:30牧師祈り会
/20(木)10:00聖研
/21(金)
/22(土)13-16子供オプンハウス



【祈りの課題】

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

静思の時の為に

ヘブル書 Devotion 第7回

「永遠の大祭司イエス」

(ヘブル7:11-22)

あなたにとってイエス様はどのようなお方ですか？かつては、自分とは何の関係もない歴史上の人物だと思っていたのではないのでしょうか。でもこの方があなたの救い主キリストとなった時、生きる意味がまったく変えられたではありませんか？それはなぜなのかということがヘブル書第7章の主題です。

前半10節まで、アブラハムが戦利品の十分の一を献げたエルサレムの王メルキゼデク(創世14:18-20参照)のことが述べられます。メルキゼデクが大祭司の原型とされるのは、レビ族のアロンを始めとする大祭司職が生まれる450年も前の人物だからです。

大祭司とは何をする人なのでしょう？イスラエルでは民が犯した罪の贖いのために捧物と生贄を献げる大祭司がおり、年に一度、秋に行われる「大贖罪日(ヨム・キプーール)」という祭が定められていました(レビ記第16章)。

では、神殿と大祭司があり、祭りも行われているのに、なぜユダ族出身のイエスが大祭司キリストなのか？実はこのことが初期クリスチャンたちが、事ある毎に周囲のユダヤ人から受けた質問でした。この質問について、ヘブル第7章は3つの理由を挙げます。

①(11-19節)旧約聖書の預言①:(詩篇110:4b)

「あなたは、メルキゼデクの例にならい、とこしえに祭司である」

②(20-21節)旧約聖書の預言②:(詩篇110:4a)

「主は誓い、そしてみこころを変えない」

③(22-28節)贖罪の犠牲獣を毎年捧げる人間の大祭司とは異なり、神の御子イエス・キリストこそ御自身を捧げ、たった一度で完全な贖いを成し遂げた大祭司である。

ヘブル書が書かれた時代は全体の内容からエルサレム陥落前であり、神殿と大祭司制度が存在していたと考えられています。しかしこの後、紀元70年にローマ軍によってエルサレムが破壊され、神殿も祭司制度も壊滅して現代に至っている今日、大祭司イエス・キリストによる贖いの完全性は、人類を救いに導く永遠なる神の御業である事がますます明らかになりました。この方こそ、私たちの受けるべき罰の身代わりとなって罪を赦してくださった大祭司なる救い主イエス・キリストなのです。私たちはこのことを証しつつ神の家族として生きる者となったのです。

幼くして脳性小児麻痺にかかり、まばたき以外の身体的自由を失った水野源三さんが作った作品に「苦しまなかったら」という詩があります：

もしも 私が苦しまなかったら 神様の愛を知らなかった

もしも おおくの兄弟姉妹がくるしまなかったら 神様の愛は伝えられなかった

もしも 主なるイエス様が苦しまなかったら 神様の愛はあらわれなかった